



一般社団法人日本スーパーマーケット協会

平成28年12月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	65,898,505 万円	100.0%	102.2% (103.9%)	63,100,485 万円	100.6% (102.2%)
食 料 品	55,528,684 万円	84.3% (84.3%)	103.0% (104.5%)	53,584,063 万円	101.3% (102.6%)
農 産	8,103,403 万円	12.3% (13.0%)	109.7% (115.2%)	7,811,888 万円	107.9% (113.0%)
水 産	5,853,862 万円	8.9% (7.8%)	98.7% (99.2%)	5,654,660 万円	97.2% (97.4%)
畜 産	7,012,064 万円	10.6% (10.9%)	102.7% (103.1%)	6,746,633 万円	100.7% (100.8%)
惣 菜	6,355,841 万円	9.7% (9.5%)	102.8% (104.8%)	6,104,788 万円	100.7% (102.4%)
日配食品	11,981,871 万円	18.2% (18.9%)	102.6% (103.6%)	11,579,871 万円	101.0% (101.8%)
加工食品	16,221,643 万円	24.6% (24.2%)	101.9% (102.4%)	15,686,223 万円	100.5% (100.7%)
生活関連	4,334,932 万円	6.6% (6.5%)	98.3% (101.1%)	4,204,710 万円	97.9% (100.6%)
衣 料 品	1,923,298 万円	2.9% (3.3%)	95.7% (101.4%)	1,809,719 万円	95.6% (102.4%)
そ の 他	4,111,591 万円	6.2% (5.9%)	98.7% (99.3%)	3,501,993 万円	96.8% (98.6%)

② 数 値

全店総売上高	65,898,505 万円	店 舗 数	4,679 店舗
総売場面積	9,257,337.0 m ²	総従業員数	258,456 人

店舗平均月商	14,083.9 万円	平均客単価 (前年同月比)	2,059.6 円 (99.1%)
月間m ² 売上(前月)	7.1 万円 (6.0 万円)	平均店舗面積	1,978.5 m ²
月間坪売上(前月)	23.5 万円 (19.8 万円)	パート比率(前月)	78.4% (77.9%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 12月の天候環境は、月の平均気温は北日本で平年並だった一方、東日本以南では寒気の影響を受けにくくかなり高かった
- ・ 昨年と比べ土曜日が1日多く、クリスマス期間が週末に当たる曜日廻りとなった
- ・ 生鮮品の相場状況は、野菜が前月に引き続き高値で推移した。畜産は、和牛が前年価格をやや下回る状況であったが、高値が続いている

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 野菜は前月に引き続き相場高の展開となり、単価上昇の要因となった
- ・ 大根、キャベツ、白菜など大型野菜が好調であったほか、価格が相場に左右されないカット野菜も好調を維持している
- ・ 果物は、みかん、柿が概ね好調であった一方、りんごが不調であった
- ・ いちごは価格が高くやや売り込みづらい環境で、好不調が分かれる結果であった

○ 水産

- ・ 生食関連では、刺身盛り合わせが好調であった一方、まぐろは好不調が分かれる結果となった
- ・ 不漁の生するめいかや相場高による価格高騰でカニが不調であった
- ・ 一部海域のノロウィルス検出による影響もあり、生カキが不調であった

○ 畜産

- ・ 牛肉はステーキや年末のすき焼き用が売上を伸ばし概ね好調であった一方、鶏肉が不調、豚肉は好不調が分かれる結果となった
- ・ 加工肉は前年並みだったものの、WHOの発がんリスクの発表による影響があった数字との比較となり、もの足りない結果となった

○ 惣菜

- ・ 需要期のクリスマスを含めて、チキン関連の商品が好調であった
- ・ 寿司が好調で、要因としてクリスマス、年末のマーケットへの取り組みが成功しているとのコメントが多かった
- ・ サラダや和惣菜が好調であった。野菜の相場高の影響によるニーズの増加が続いている

○ 日配・加工食品

- ・ 前月に引き続き、インフルエンザ予防のニーズによりヨーグルトの売上が伸長しているほか、野菜の価格が高いため、漬物、冷凍野菜が好調を維持している
- ・ 加工食品は、米、飲料、鍋つゆが概ね好調であった
- ・ 酒はチューハイ、ウィスキーが好調だった一方、ビール類は売上の伸びが見られなかった

「クリスマス」の状況について

- ・ 本年のクリスマスは週末に当たり、売上は全体的に好調に推移した
- ・ 菓子はクリスマスブーツの販売が縮小傾向にあるものの、チョコレートやビスケットなどの他の商品を付加して売上を伸ばしている
- ・ パーティメニューの提案では、寿司、オードブルが好調であったほか、ローストビーフ、ステーキ、スペアリブ、ピザなどの洋食メニューの提案の成功事例が多く見られた
- ・ 惣菜のチキン商材は概ね好調であった。特にフライドチキンの動きが良かった
- ・ 酒はスパークリングワインが好調であった。ハーフサイズ、フルーツスパークリングが伸びている

「年末マーケット」の状況について

- ・ ごちそうメニューは寿司、刺身、牛すきやきが高付加価値商品の動向が良く好調であった一方、カニ、えびなどは不調であった
- ・ おせち材料のかまぼこ、鏡餅、生そばなど年末・年始の行事・風習関連の商材が不調であった
- ・ 酒は日本酒が好調であったほか、ワインの動きも良く、年末・年始に飲むシーンが増えている

「冬ギフト、クリスマスケーキ・おせちなどの予約販売」の状況について

- ・ 冬ギフトは地元の名産品やスイーツが好調であったものの、全体としては贈答需要の縮小もあり、売上の減少が見られた
- ・ クリスマスケーキの予約販売は前年を下回る結果が多かった。人気の商品は、アソート系にシフトしてきている
- ・ おせちの予約販売は概ね好調であった

以 上